ハビナース

標準型車いす　ウィングアップ

WD1N - 38/40/42　自走式　　WCD1N - 38/40/42　介助式
WD2 - 38/40/42　自走式

取 扱 説 明 書

（保証書付）

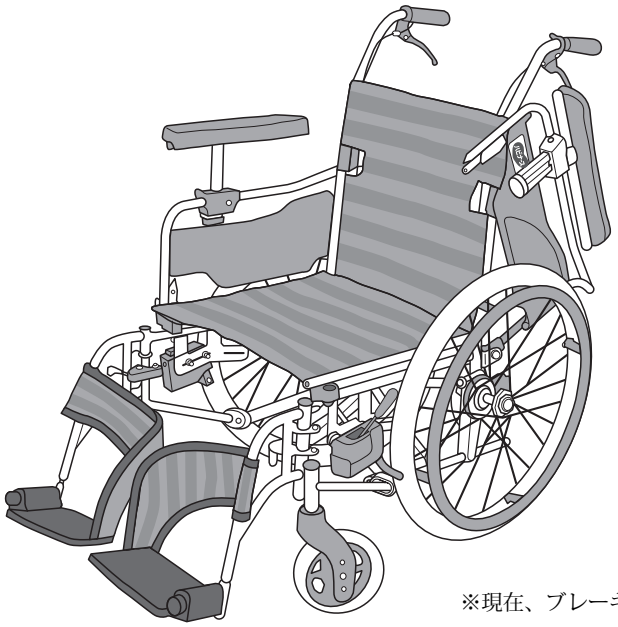
このたびは、ハビナース「ウィングアップ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますよう、お願いいたします。

なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。

目　次

1. 主な特長 …… 2
2. 各部の名称 …… 2
3. 警告･注意マーク …… 3
4. 安全にお使いいただくために …… 4
5. 使用方法 …… 6
6. 使用前の点検 …… 13
7. お手入れの方法 …… 14
8. 保管方法 …… 14
9. 仕　様 …… 15
10. アフターサービスについて …… 15
保証書 …… 16



（WD2-40）

※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

本商品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。この取扱説明書に記載されている内容をよくお読みになり、十分にご理解された上でご使用いただくよう、よろしくお願いいたします。
また、この取扱説明書に書かれていない使用方法は絶対に行わないでください。

1 主な特長

車いすへの移乗がスムーズにできます

- 跳ね上げ式アームサポート付き。
  アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。
- スイングアウト式フット・レッグサポート付き。
  フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などへより近づくことができます。また、フット・レッグサポートは取り外すこともできます。

ご使用者の体格に合わせてシート高さを変えられます

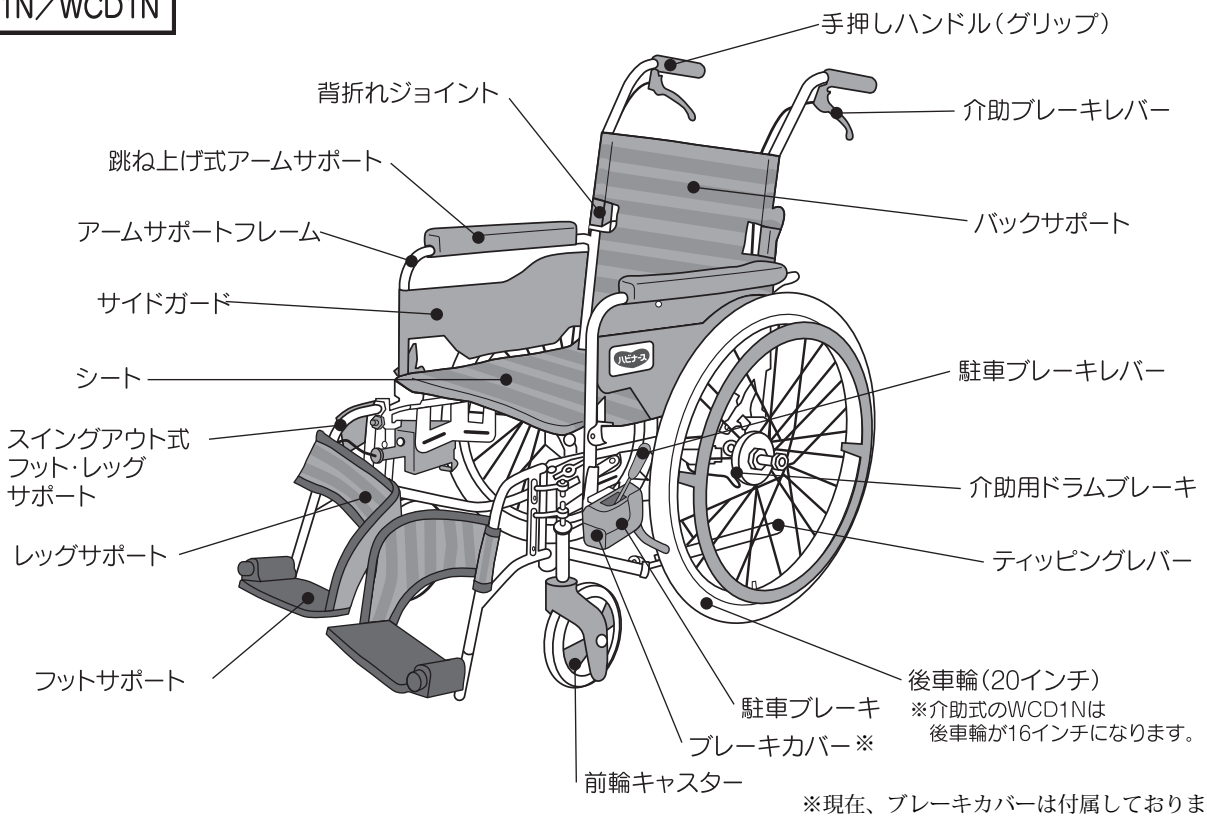
- 座面高さは3段階（375・400・425mm）に調整できます。【WD1N／WD2】
  介助式（WCD1N）は固定です（425mm）。

ご使用者の体格に合わせてアームサポート高さを変えられます

- アームサポート高さは4段階（240・265・290・315mm）に調整できます。【WD2】
  WD1N・WCD1Nは固定です（220mm）。

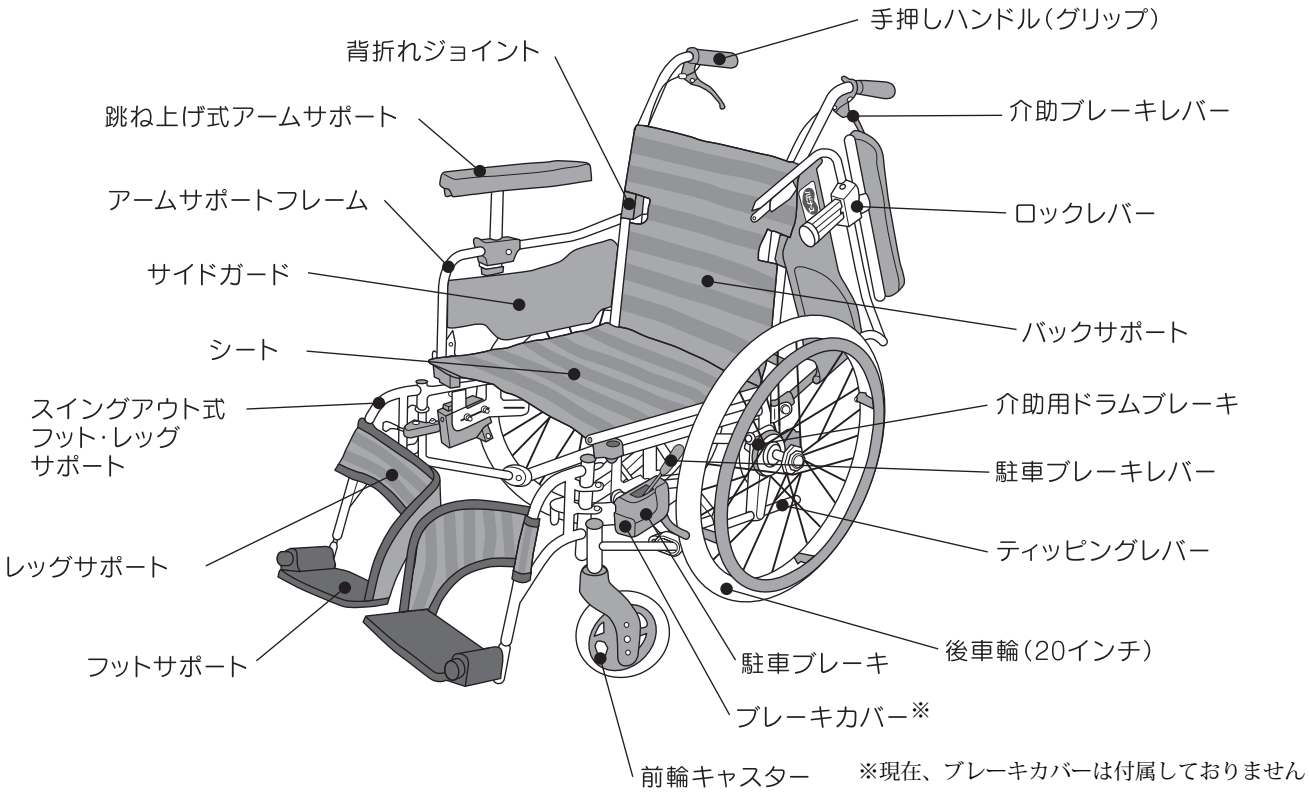
2 各部の名称

WD1N／WCD1N



※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

WD2



3 警告・注意マーク

商品を安全にご使用いただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

4 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 道路走行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

⚠ 警告

走行時の注意

⃠「ウイングアップ」は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。
使用者最大体重（積載物を含む）　100kg

⃠ スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは大変危険です。

❗ 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。

❗ 走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。

⃠ 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。

⚠ 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。

⃠ バックサポートや手押しハンドルにものを掛けないでください。

⚠ 夜間や雨天時は通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。

⚠ 回転している車輪に指を挟まれないように注意してください。

⃠ タイヤを持って車輪を操作しないでください。ブレーキに指を挟み危険です。

⃠ 走行中にアームサポートの跳ね上げ及びフット･レッグサポートのスイングアウト操作をしないでください。

⚠ 警告

介助時の注意

⃠ 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でヤケドをしたり、タイヤの空気が膨張しパンクすることがあります。

⚠ 踏み切りを横断する際は、溝や踏み切りの線路による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。

⃠ 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。

⚠ 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスター及び地面、建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

⃠ シート以外に腰掛けないでください。

⚠ 認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分にご注意ください。

⚠ アームサポートをはね上げる際は、可動部に身体または衣服をはさまないよう注意してください。

⚠ 注意

保守・点検の注意

❗ 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取り、可動部に注油を行ってください。

⃠ 後車輪のドラムブレーキ部分には、注油しないでください。介助ブレーキが働かなくなり、十分なブレーキ性能が保てなくなります。

❗ 使用する前に後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
⃠ 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
⃠ 路面に段差や凹凸のあるところ、湿気の多いところ、雨風の当たるところには車いすを放置しないでください。
❗ ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

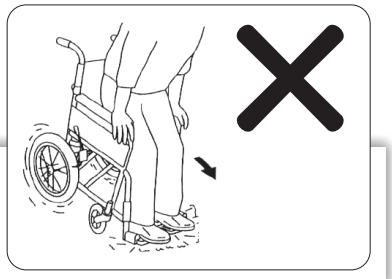
⚠ 注意

停止時の注意

❗ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

移乗時の注意

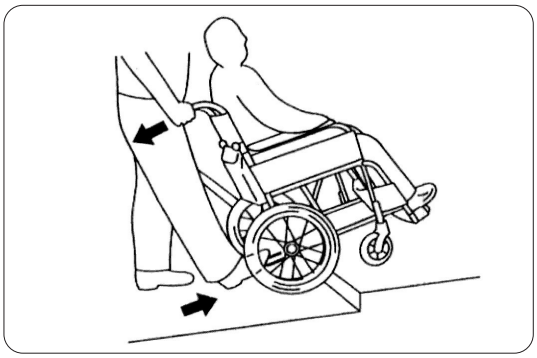
❗ 移乗する時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。
⃠ 移乗する時は、駐車ブレーキに体重をかけないでください。
❗ 移乗する時は、フット・レッグサポートを開くか、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。
また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう、注意してください。

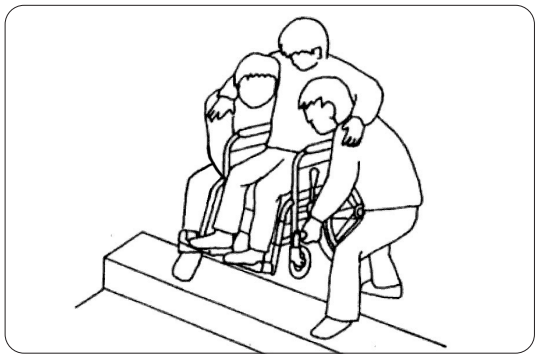


⚠ 注意 ⃠ フットサポートの上には乗らないでください。

段差乗り越え時の注意

❗ 必ず背折れジョイントがロックされていることを確認してください。
❗ 足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。
❗ 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げる時は、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。





⚠ 注意 ⃠ 無理な力による段差乗り越えはしないでください。
フレームの破損につながります。

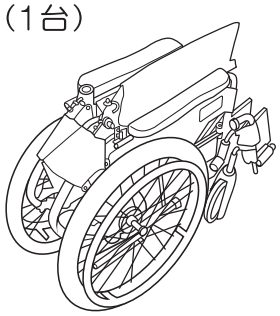
⚠ 注意 ❗ フットサポートの先端を段差や障害物に当てないようご注意ください。

5 使用方法

（1）開封

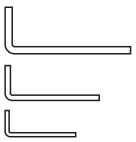
本体・付属品・取扱説明書が入っていることを確認してください。

●本体（1台）



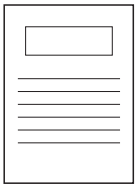
●付属品

スパナセット2本



六角レンチセット
（3mm・4mm・5mm）
各1本

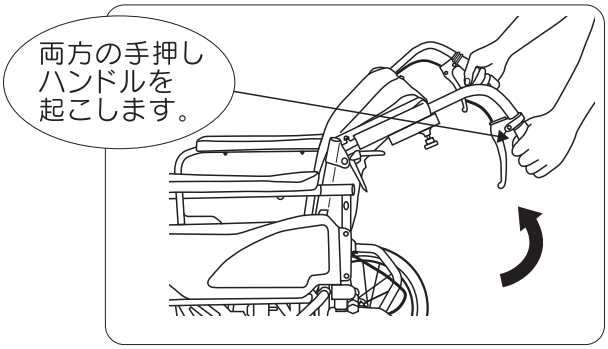
●取扱説明書
（保証書）

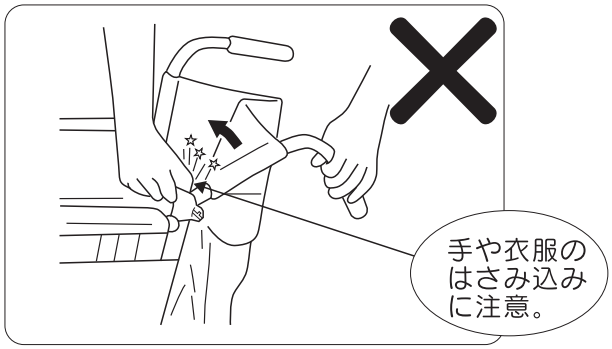


（2）使用方法

1）バックサポートの起こし方

車いすのシートを広げる前に、バックサポートを起こします。
バックサポートは最後まで起こしますと自動的にロックされます。
ワイヤーやシートなどを背折れジョイントにはさみ込まないように注意してください。





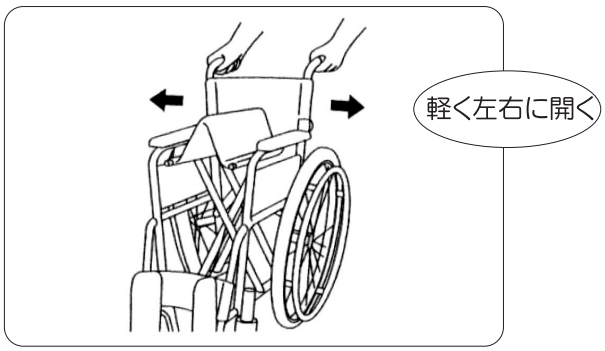
2）バックサポートのたたみ方

手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを引きながら手押しハンドルをたおします。

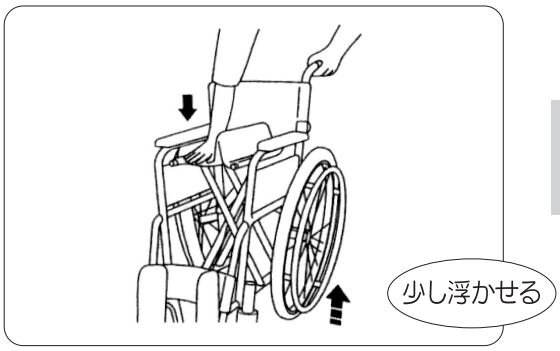
⚠ 注意	⃠ バックサポートを起こす・たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または身体の一部や、衣服をはさんでケガをしたり、衣服が破損する恐れがあります。

3）シートの開き方

① 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。※P.7_5）参照
② 手押しハンドルを軽く持ち、本体を浮かせながら左右に開きます。



③ 片側の車輪を浮かせ、浮いてない方のシート端を手で上から押します。



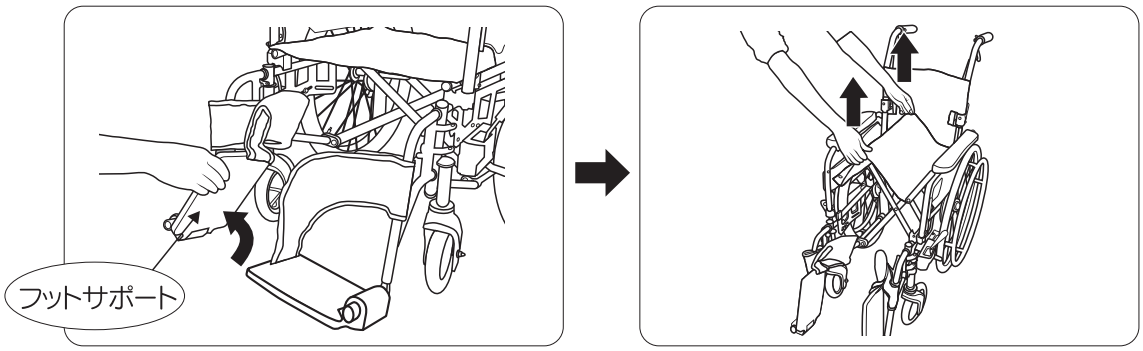
シートの両端を上から押し、シートがきちんと開いていることを確認してください。

⚠ 注意

⃠ シートパイプ部分を握って押しさげないでください。
手をはさみ危険です。

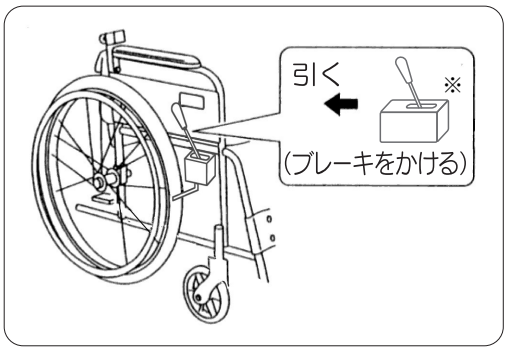
4）シートのたたみ方

① フットサポートを外側に跳ね上げ、座シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。
② 手押しハンドルを持って、左右から押し縮めるように折りたたみます。



※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

5）駐車ブレーキの掛け方、解除の方法



※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと、ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。

駐車ブレーキレバーの操作は、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に行ってください。

⚠ 注意	❗ 目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。 タイヤの空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。

⚠ 注意	❗ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

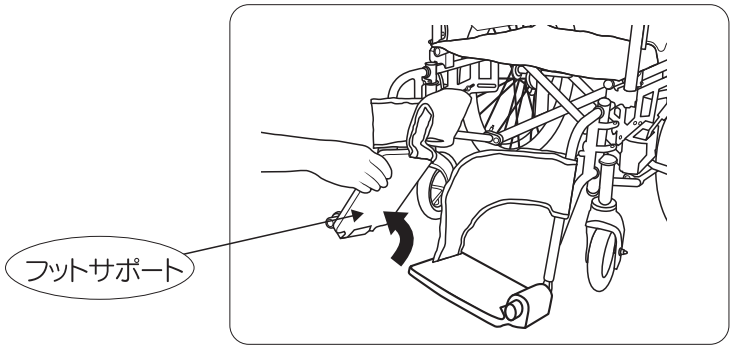
6）介助ブレーキの取り扱い方法

ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時にご使用ください。
左右の手押しハンドルにある介助ブレーキレバーをにぎると、ブレーキが掛かります。

左右の介助ブレーキレバーは同時に均等な力で操作してください。

7）フットサポートの取り扱い方法

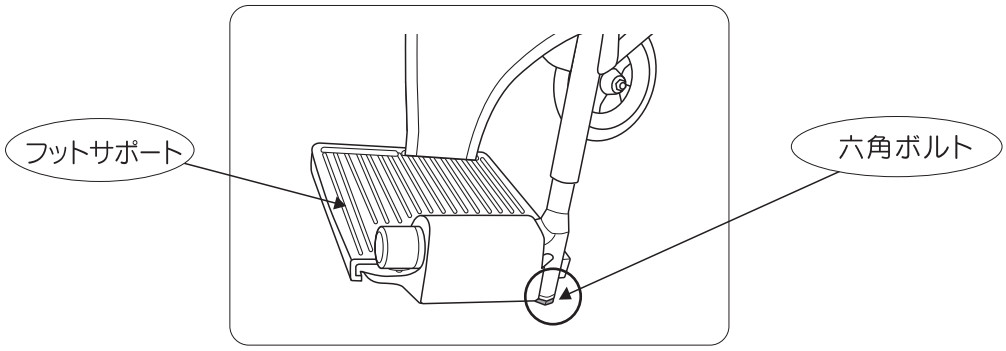
フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
介助のさまたげになる時は跳ね上げてください。



※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

8）フットサポートの高さ調節

① 六角ボルトを付属品のスパナで緩め、フットサポートを上下させ使用者の足位置に合わせます。
② 位置が決まったら、六角ボルトを締め付けて固定します。



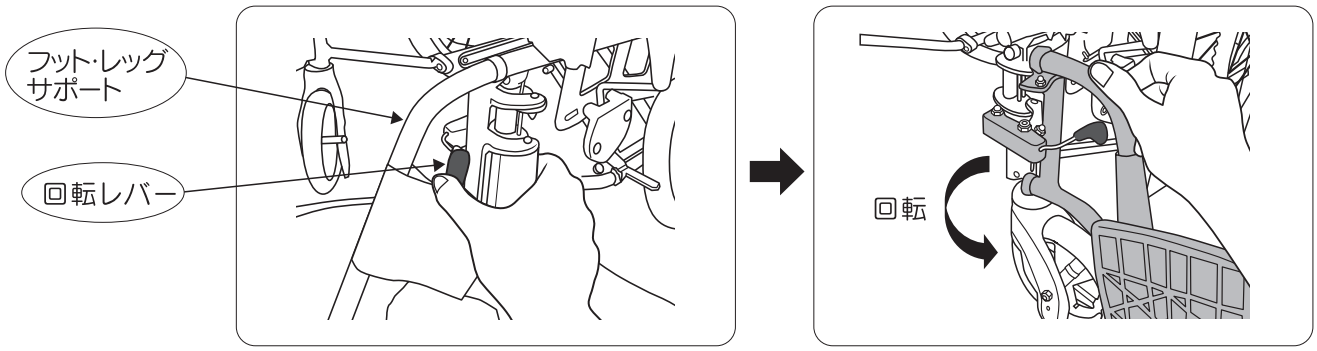
六角ボルトは確実に
締め付けてください。

フットサポートの高さは、
地上より50mm以上で
ご使用ください。

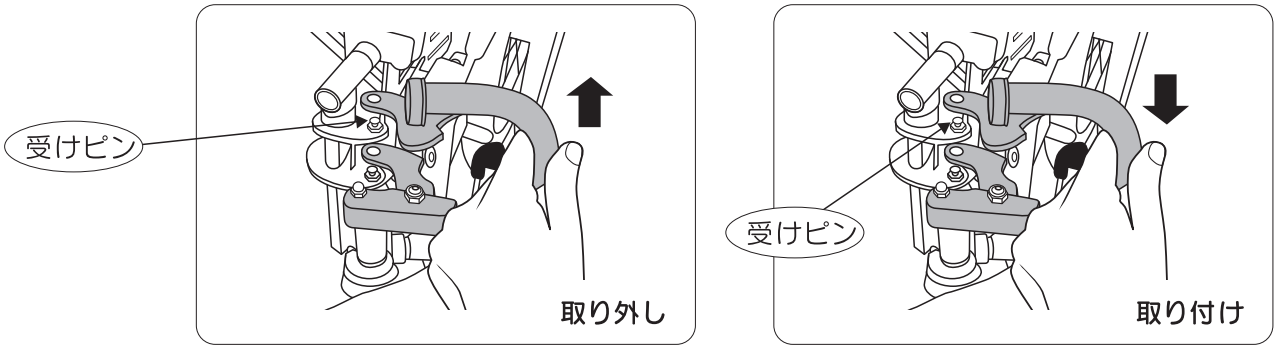
9）スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法

フット・レッグサポートを開くことで、ベッド・椅子などに近づくことができます。

① 回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



② 取り外しは、フット・レッグサポートを外側に回転させた状態で引き上げます。
③ 取り付けは、2つの受けピンにフット・レッグサポートの回転軸穴をはめ込みます。



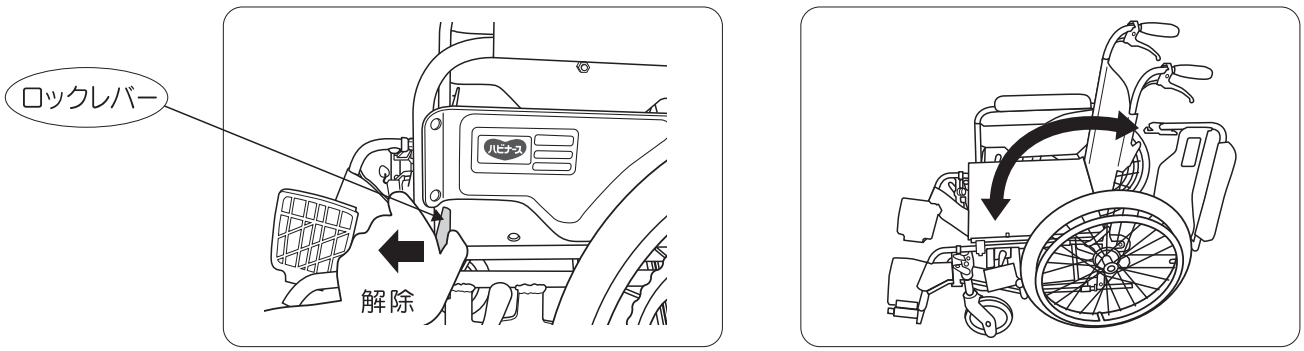
⚠ 注意	❗ フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。 ❗ フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

10）跳ね上げ式アームサポートの取り扱い方法

アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

① アームサポートを跳ね上げる
ロックレバーを押しながらアームサポートを跳ね上げます。

② アームサポートを下ろす
アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っ掛かるまで下ろします。



※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

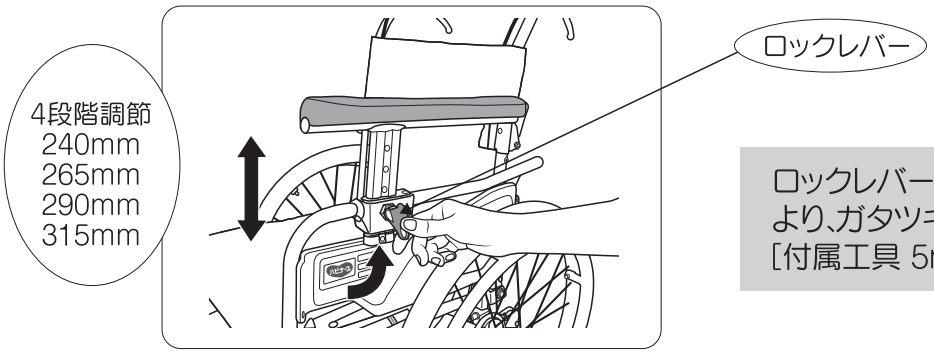
⚠ 注意	❗ アームサポートを下ろす際は、身体や衣服をはさまないように注意してください。

⚠ 注意	❗ アームサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。 ⃠ アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

11) アームサポートの高さ調節　【対応機種：WD2】

① ロックレバーを引き上げるとロックが解除されます。

② アームサポートを上下させて、高さを調節します。



ロックレバー横のネジを締め込むことにより、ガタツキを抑えることができます。
［付属工具 5mm 六角レンチ］

③ ロックレバーを下げるとアームサポートが固定されます。

⚠ 注意	❗ アームサポートの高さ調節をした後は、必ずアームサポートを上下にゆすりロックされていることを確認してください。 上から押して下がらないことを確認してください。

12) 座面高さ調整の方法　【対応機種：WD1N・WD2】

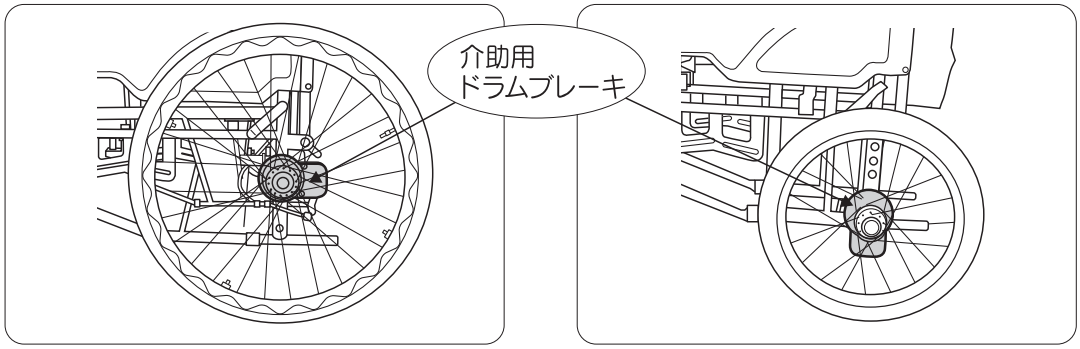
⚠ 注意	❗ 1) 調整の際は、必ず駐車ブレーキを掛けてから、平坦な場所で行ってください。 2) 後車輪取り付け後、各部がしっかり固定されていることを確認してください。 3) 座面高さ調整は後車輪・前輪キャスター・駐車ブレーキの取り付け位置変更が必要となります。後車輪や前輪キャスターの取り付け高さは左右同じにしてください。 4) 後車輪と前輪キャスターの座面高さ設定は同じ高さにしてください。取り付け高さを誤ると、腰掛けた際に転倒する恐れがあります。

① 後車輪取り付け高さ変更

ア) 作業しない側の駐車ブレーキだけを掛けてください。

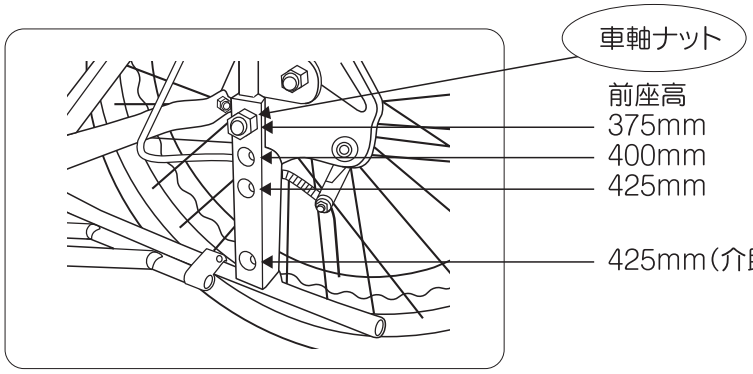
イ) 後車輪の車軸ナットを付属のスパナまたは専用工具で外し、後車輪を抜きます。

ウ) 合わせたい高さに位置を合わせ、後車輪の車軸を介助用ドラムブレーキ、介助用ドラムブレーキ固定金具に通し、本体フレームに差し込みます。
この際、介助用ドラムブレーキは下図の取り付け方向となるように取り付けてください。



自走式　　介助式

エ) 後車輪の車軸ナットを締め、後車輪がしっかり固定されていることを確認してください。
後車輪取り付け位置は、左右同じ高さに調整してください。

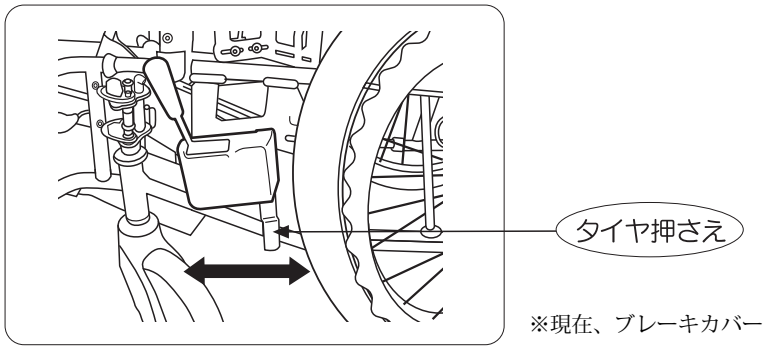


② 駐車ブレーキ取り付け位置変更

後車輪取り付け高さを変更すると、後車輪と駐車ブレーキ間の距離が変わります。駐車ブレーキ位置を調整してください。

ア) 駐車ブレーキの裏側に固定しているナット（2ヵ所）を付属のスパナまたは専用工具で緩めてください。

イ) 後車輪にタイヤ押さえが当たり、後車輪がしっかり止まる位置に調整してください。

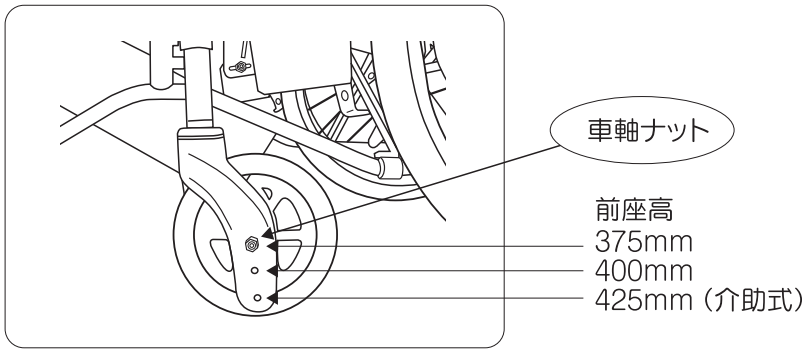


※現在、ブレーキカバーは付属しておりません

ウ）ナットを締め、駐車ブレーキがガタつかずしっかり固定されていることを確認してください。
エ）駐車ブレーキをかけ、後車輪がしっかり止まることを確認してください。
後車輪がしっかり止まらない場合や駐車ブレーキが効き過ぎる場合は、再度調整をしてください。
反対側も同じように調整してください。

③ 前輪キャスター取り付け高さ変更

後車輪の取り付け位置を変更した場合には、前輪キャスター高さも調整してください。
ア）前輪キャスターの車軸ナットを付属のスパナまたは専用工具で緩め、ボルトを抜きます。
イ）後車輪の高さに合わせボルトを差します。
※介助式の場合のキャスター高さは425mmになります。
ウ）車軸ナットを締め、前輪キャスターがしっかり固定されていることを確認してください。
また、車輪がスムーズに回転することを確認してください。
反対側も同じように調整してください。



⚠ 注意	❗ 座面高さ調整は、調整不足により、思いがけない事故を起こす恐れがあります。 ご使用される前に十分に安全であることを確認の上、ご使用ください。 調整につきましてご不明な点などありましたらお近くの販売店、または、ピジョンタヒラ（株）にご連絡ください。

6 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や異常を感じた時は、使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）へご連絡ください。

（1）ブレーキの作動確認

① 後輪タイヤの空気圧の確認
適正空気圧300kPa（3kgf/cm^2）目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。

② 駐車ブレーキ
駐車ブレーキレバー操作を行い、ブレーキが掛かることを確認してください。

③ 介助ブレーキ
介助ブレーキを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

> ⚠ **注意**
>
> ❗【エアータイヤ（WD1N・WCD1N）】
> 後輪タイヤの空気圧が少ないと、ブレーキの効きが悪くなる場合がありますのでご注意ください。　適正空気圧　300kPa（kgf/cm^2）
>
> 【ハイポリマータイヤ（WD2）】
> ハイポリマータイヤ仕様により、空気圧の点検は不要です。

（2）バックサポートが固定されていることの確認
背折れジョイントがロックされていること、バックサポートが固定されていることを確認してください。

（3）可動部分の確認
前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ネジのゆるみのないことを確認してください。

（4）消耗品、交換部品の確認
それぞれの部品が消耗・劣化した時は、早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）へご連絡ください。

> ⚠ **注意**
>
> ❗ 交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがありますのでご注意ください。

消耗品・交換部品

品　名	交　換　時　期
後車輪	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
前輪キャスター	しっかり取り付けてもガタガタするとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。
介助ブレーキワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。

7 お手入れの方法

(1) 本体フレームのお手入れ

① 本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。

② 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

(2) 手押しハンドルなどのプラスチック部品、シート部のお手入れ
(シート、バックサポート、アームサポートなど)

●汚れは中性洗剤でおとしてください。

⚠ 注意	⃠ シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。 製品を傷める恐れがあります。

(3)走行性の確認

● まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。
お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)へお問い合わせください。

(4)駐車ブレーキ作動確認

● 定期的に駐車ブレーキのリンク部に注油を行ってください。注油の際、後車輪を止めている部分には油がつかないようご注意ください。

(5)介助ブレーキ作動確認

● 後車輪の車輪軸にあるドラムブレーキ部分には油がつかないようご注意ください。介助ブレーキの効きが悪くなる原因となります。

(6)シートの確認

● 車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をおすすめします。

8 保管方法

(1)収納スペースが少ない時は、車いすをたたんで保管してください。

(2)錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所には保管しないでください。

9 仕　　様

単位：mm

型式	WD1N-38/40/42	WCD1N-38/40/42	WD2-38/40/42
フレーム材質	アルミ（アルマイト処理・塗装）		
シート材質	ナイロン（座面・背もたれ・レッグサポート）		
前輪×後輪	6″×20″エアータイヤ	6″×16″エアータイヤ	6″×20″ハイポリマータイヤ
前座高	375・400・425	425	375・400・425
後座高	350・375・400	400	350・375・400
座　幅	380/400/420	380/400/420	380/400/420
座奥行	400		
バックサポート高	380		
アームサポート高	220		240/265/290/315
グリップ高	850/875/900	900	850/875/900
全　幅	590/610/630	540/560/580	590/610/630
全　高	860・885・910	910	860・885・910
全　長	1,030		
折りたたみ寸法(全幅/全高/全長)	360/(610・635・660)/990	280/660/960	360/(610・635・660)/990
重　量(kg)	15.1	13.6	16.9

10 アフターサービスについて

この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）へお申しつけください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。
転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ（株）へお問い合わせください。

商品の保証について

（1）保証内容につきましては、裏面の保証書をご覧ください。
（2）保証期間終了後の修理については、販売店にご相談ください。
　修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

ピジョンタヒラ株式会社
〒103-0005　東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
TEL 03（3661）4371（代表）
受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）
ピジョンタヒラホームページは
http://www.pigeontahira.co.jp

保　証　書

商品名　ウィングアップ

型　式　WD1N／WCD1N／WD2

1. 本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、下記販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
3. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスター・タイヤの摩耗やシートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
4. 保証期間内でも、次の場合は有償修理になります。
   (1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買い上げ後の落下等による故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷
   (4) 一般家庭・施設・病院用以外に使用された場合の故障および損傷
   (5) 本書の提示がない場合
   (6) 本書にお買い上げ年月日、お客様のお名前、ご住所の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

ピジョンタヒラ株式会社
〒103-0005　東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
TEL 03(3661)4371(代表)
受付時間　9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
http://www.pigeontahira.co.jp

下記※印欄にご記入のない場合は無効となります。 必ずご記入ください。

お客様	※ 販売店
ご住所 〒　　－ お電話　　－　　－	
お名前　　様	
※お買上げ年月日　　年　　月　　日	※お買い上げ時のレシート添付でも有効